

令和4年度

大学院医工農学総合教育部 修士課程(工学専攻)学生募集要項

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載されている日程や選抜方法等とは異なる方法で実施することがあります。

公表した内容から変更があった場合は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>) に変更後の募集要項を掲載しますので、随時確認してください。

なお、状況によっては、変更後の内容がさらに変更となる場合もあります。



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI

山梨大学

(<https://www.yamanashi.ac.jp>)

目 次

アドミッションポリシー	1
1 概要	3
2 前期募集	
推薦特別選抜学生募集要項	5
一般選抜学生募集要項	12
社会人特別選抜学生募集要項	22
共通事項	27
3 後期募集	
推薦特別選抜学生募集要項	29
一般選抜学生募集要項	35
社会人特別選抜学生募集要項	45
共通事項	50
4 コース内容	52
5 甲府キャンパス建物配置図及び周辺図	61

附録：Web 出願利用ガイド

本学所定の様式

様式1 推薦書（推薦特別選抜のみ）

様式2 志望理由書

様式3 研究計画書（各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて作成すること）

様式4 研究業績調書（社会人特別選抜のみ）

様式5 入学試験出願資格認定審査調書（事前に出願資格審査の対象となる方のみ提出）

※ 様式は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

《問い合わせ先》

山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

平日（月～金）8時30分～17時

（休日、夏季一斉休業(8/13～17)及び年末年始(12/29～1/3)を除く。）

《アドミッションポリシー》

◇ 大学院医工農学総合教育部修士課程の理念・目標とアドミッションポリシー

[理念・目的]

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

[教育目標]

専門知識及び開発能力、問題発見・解決能力、国際的コミュニケーション能力を修得し、専門技術者・研究者として社会に貢献できる人材の養成を目指します。

[アドミッションポリシー]

専門領域の基礎的学力を持ち、さらなる知識の修得意欲があり、高度の研究や応用を目指し、その成果を社会に還元しようとする人を求めます。

工学専攻

志望するコースに関連する専門分野の基礎知識を有しコース専門科目を履修することが可能と判断され、かつ、修了後は工学系高度専門職業人として産業分野で活躍しようとする意欲がある方、あるいは博士課程に進学し研究人材として活躍しようと考えている方を求めます。入学試験においては、専門基礎知識と修士課程での研究計画、学修意欲を判定します。

・ 機械工学コース

機械工学コースでは、ものづくりを支える工学の基盤に位置付けられる機械工学分野における高度専門職業人の輩出を目的としていますので、以下に示すような基礎的な知識や能力を備えるとともに、高い向上心を有する学生を求めます。

- (1) 学士課程において、機械工学に関連する基礎的な専門知識や基本技術を修得した方
- (2) 機械工学のみならず工学全般について強い関心を持ち、ものづくりを通じて多様化する社会の要請や新たな社会の創成に貢献しようとする強い意欲がある方
- (3) 日本語あるいは英語で機械工学分野の内容を他者にわかりやすく説明するとともに、内容について深く議論しようとするコミュニケーション能力の向上を目指す方

・ 電気電子工学コース

未知の事柄にも恐れずに挑戦し電気電子工学分野の学術研究を深めること、または、電気電子工学技術を駆使して現代社会が直面する課題の解決に取り組むことに意欲があり、以下の知識・力を備えた学生を求めます。

- (1) 電気電子工学の根幹をなす電気回路、電子回路、電磁気学の基礎知識
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論する力
- (3) 電気電子工学分野の大学院生として必要な英語によるコミュニケーション能力

・ コンピュータ理工学コース

情報理工学に関する高度かつ先端的な理論や技術とともに俯瞰的なものの見方を身につけ、新たな技術を生み出すために必要となる理学的分析力や探究心、問題解決能力や工学的デザイン力を備え、幅広い情報応用分野で活躍する意欲があり、以下の知識・力を備えた学生を求めます。

- (1) アルゴリズムとデータ構造及びプログラミングをはじめとするコンピュータ理工学の基礎知識を正しく身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく説明し、内容について技術的観点を中心に論理的に議論できること
- (3) コンピュータ理工学分野の大学院生として必要な英語によるコミュニケーション能力を備えていること

・ メカトロニクス工学コース

機械・電気・情報の総合的分野であるメカトロニクス工学分野の知識や技能に基づいた協働開発能力を持ち、これらに基づいた問題発見能力、コミュニケーション能力、技術活用能力を発揮して「ものづくり」開発の中心的役割を果たすとともに、これを通じて社会の課題の解決に貢献しようとする人を求めます。

- (1) 線形代数、微分積分、微分方程式に関する基礎知識を身につけていること
- (2) 材料力学・機械力学、プログラミング、デジタル回路、制御工学のうち、少なくとも1分野の基礎知識を身につけていること

- (3) 日本語または英語で自らの専門分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論ができること
- (4) メカトロニクス工学分野の大学院生として必要な英語によるコミュニケーション能力を有すること

・ 土木環境工学コース

土木環境工学が直面する工学的・社会的な課題に強い関心を持ち、その解決を目的とした実践的研究や、土木環境工学分野の技術的な発展・展開に対する学術研究に取り組む意欲があり、以下の知識・能力を備えた学生を求めます。

- (1) 土木環境工学の主要分野である構造力学、水理学、土質力学、土木計画学、土木材料学、環境システム工学等基礎知識が身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく説明し、内容について深く議論することができること

・ 応用化学コース

有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学など応用化学の基幹分野に関する高度な専門知識を備え、国際的視野を持って創造的に研究・開発を推進し、広い視野と俯瞰的な視点をもって社会を牽引するイノベーション創出に貢献しようとする人を求めます。

- (1) 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学、高分子化学などの基礎知識を身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専門分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論することができること
- (3) 応用化学分野の学部卒業生として必要な英語によるコミュニケーション能力を備えていること

・ 先端材料理工学コース

フォトニクスやエレクトロニクス新素材、量子デバイスや新機能ナノデバイスなどに関する基礎研究、あるいは応用開発研究を行うための基礎学力・素養・教養を持ち、問題解決に向けて自ら取り組む意欲のある人を求めます。

具体的には、以下の基礎学力と能力・資質を有する人を求めます。

- (1) 学部レベルの数学、物理学、化学の基礎学力を身につけていること
- (2) 広い視野に立ち、物事を柔軟に考えることができる素養を持っていること
- (3) 研究分野の内容を深く考え、その本質や問題点を日本語、または外国語で他の人と論理的に議論しようという意欲・能力を有すること

・ 流域環境科学特別教育プログラム

洪水や渇水の可能性、水資源の保全と最適配分、汚染の発生源と発生機構の解明、地域に適した飲料水や排水の浄化技術の開発、健康や社会経済的影響の評価など、世界各地で起こっている多様な水・環境問題の解決に取り組む意欲があり、以下の知識・能力を備えた人を求めます。(本プログラムの博士課程と連携しています。)

- (1) 水文学、水質学、微生物学、環境工学、公衆衛生学などの基礎知識を身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専攻分野の内容を他者にわかりやすく説明し、内容について深く議論することができること

・ グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム

燃料電池、太陽電池、水素製造、熱電変換などの多様なグリーンエネルギーの変換と貯蔵に関する広い視野角の知識と先端技術、英語コミュニケーション能力と討論力などを習得し、低炭素社会の実現に向けて関連産業界等でグリーンイノベーションの創出に貢献して国際的に活躍する強い意欲があり、以下に示すような基礎的な知識や能力を持った人を求めます。

- (1) エネルギー変換工学の基盤となる、化学(物理化学、無機化学など)あるいは物理・電子物性などの基礎知識を身につけていること
- (2) 日本語または英語で自らの専門分野の内容を他者にわかりやすく詳細に説明し、内容について深く議論することができること
- (3) 学部卒業生レベルの英語の読解力とコミュニケーション能力を備えていること

概 要

1 募集人員

募集区分等 コース等	入学定員	募 集 人 員						総募集 人 員
		前 期 募 集 〔 令和3年10月入学 令和4年4月入学 〕			後 期 募 集 〔 令和4年4月入学 令和4年10月入学 〕			
		推 薦 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜	推 薦 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜	
機 械 工 学 コース	181 人	18 人	5 人	若干人	/	若干人	若干人	23 人
電 気 電 子 工 学 コース		15 人	8 人	若干人	/	若干人	若干人	23 人
コンピュータ理工学コース		16 人	7 人	若干人	若干人	若干人	若干人	23 人
メカトロニクス工学コース		15 人	8 人	若干人	/	若干人	若干人	23 人
土 木 環 境 工 学 コース		/	15 人	若干人	/	若干人	若干人	15 人
応 用 化 学 コース		24 人	12 人	若干人	/	若干人	若干人	36 人
先端材料理工学コース		15 人	8 人	若干人	/	若干人	若干人	23 人
流域環境科学 特別教育プログラム		若干人	10 人	若干人	/	若干人	若干人	10 人
グリーンエネルギー 変換工学特別教育プログラム		/	5 人	/	/	若干人	/	5 人
合 計	181 人	103 人	78 人	/	/	/	181 人	

2 日 程

【前期募集 (令和3年10月入学・令和4年4月入学)】

項 目		募集区分	推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
		希望する指導教員と事前打合わせを行った上で、出願してください。			
出 願 資 格 審 査		出願資格によっては、事前に出願資格の審査が必要です。各募集要項で確認し、出願資格審査の申請期間内に審査に必要な書類を提出してください。			
出 願 期 間		令和3年6月14日(月)～6月21日(月) 出願期間内に「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。			
試 験 日		令和3年7月3日(土)			
合 格 者 の 発 表		令和3年7月16日(金)			
入学手続	令和3年10月入学	令和3年9月10日(金)			
	令和4年4月入学	令和4年3月8日(火)～3月15日(火)			

【後期募集 (令和4年4月入学・令和4年10月入学)】

項 目		募集区分	推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
		希望する指導教員と事前打合わせを行った上で、出願してください。			
出 願 資 格 審 査		出願資格によっては、事前に出願資格の審査が必要です。各募集要項で確認し、出願資格審査の申請期間内に審査に必要な書類を提出してください。			
出 願 期 間		令和3年11月15日(月)～11月22日(月) 出願期間内に「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。			
試 験 日		令和3年12月4日(土)			
合 格 者 の 発 表		令和3年12月17日(金)			
入学手続	令和4年4月入学	令和4年3月8日(火)～3月15日(火)			
	令和4年10月入学	令和4年9月9日(金)			

前期募集

(令和3年10月入学・令和4年4月入学)

推薦特別選抜学生募集要項

現在、科学技術の進展と広がり著しく、社会的要請として既存の学問体系の枠を超えた学際的学問分野及び新研究分野の創造が望まれています。

この視点から、本修士課程(工学専攻)では、特色ある教育と研究の場の提供をめざして、各専門分野又は各専門分野を超えた学問・研究に取り組む積極的、意欲的な学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

コース名	募集人員
機械工学コース	18 人
電気電子工学コース	15 人
コンピュータ理工学コース	16 人
メカトロニクス工学コース	15 人
応用化学コース	24 人
先端材料理工学コース	15 人
流域環境科学特別教育プログラム	若干名
合 計	103 人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で、出身大学等において優秀な成績を修め指導教員等から本人の能力について推薦を得られる方、かつ、合格後に入学することを確約できる方。なお、流域環境科学特別教育プログラムを志願する場合は、日本政府(文部科学省)国費留学生へ本学から推薦されている必要があります。

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校専攻科を令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方で、令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省の「大学校」等を卒業(修了)した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに卒業(修了)見込みの方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

【注1】 上記の(7)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について令和3年5月10日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

【注2】 外国人(留学生)で入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、本頁の「3 出願期間前の審査等」を確認してください。

3 出願期間前の審査等（該当する方のみ）

(1) 外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。審査に必要な提出書類を取り揃え、申請期間内に教学支援部入試課に提出してください。

なお、出願時点において、5頁の「2 出願資格」(1)に該当する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、本学の研究生(国費、政府派遣、私費)及び令和3年度修士課程工学専攻入試までの出願者のうち、既に本学において事前審査等を受けた方、若しくは、流域環境科学特別教育プログラムを志願し日本政府(文部科学省)国費留学生へ本学から推薦された方については、出願資格の審査を免除する場合がありますので、出願資格審査の申請期間までに工学域支援課教務グループ(電話：055-220-8738)へ照会してください。

出願資格の審査結果は、令和3年5月28日(金)までに本人へ通知します。なお、出願資格を有すると認められた方は、必ず出願期間内に願出申請を完了してください。

ア 出願資格の審査に必要な提出書類

- ① 入学試験出願資格認定審査調書(様式5)
- ② 卒業(見込)証明書等及び成績証明書等(出身大学長等が作成したもの)
- ③ 推薦書(様式1)
- ④ 志望理由書(様式2)
- ⑤ 研究計画書(様式3)
- ⑥ 英語外部試験の成績 *本要項7～8頁の「4 出願手続」(3)参照
- ⑦ 在留カードの写し(両面)(日本国内在住の方)、又は旅券の写し(海外在住の方) *本要項7～8頁の「4 出願手続」(3)参照

イ 申請期間

令和3年5月10日(月)～5月14日(金)17時まで【申請期間内必着】

① 日本国内在住の方

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、申請期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口に出願してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず申請期間内に必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

【留意事項】

- ① 申請にあたり、**十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。**
- ② 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

(2) 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年5月10日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

提出先・照会先：教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

4 出願手続

- (1) 出願方法 ※ 詳細は、「附録 Web出願利用ガイド」を確認してください。
次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

- 「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

- 全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。
- 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び「令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)で確認してください。

- (3) 出願書類

- 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。**
- 出願書類の受理後は、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類の返却もできません。
- 流域環境科学特別教育プログラムを志願し日本政府(文部科学省)国費留学生へ本学から推薦された方は、下記の書類のうち、NO. 1～2、4～7は「国費留学生申請書類」の写し(7については日本政府(文部科学省)奨学金留学生募集要項に定められた「語学能力」のいずれかの条件を満たす根拠となる書類(英語に関するもの)の写し)の提出が可能です。
- 出願資格審査を受けた方は、資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業(見込)証明書等 * 本学を卒業見込みの方は提出不要	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 5頁の「2出願資格」(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。

4	推薦書	<p>本学ホームページから【推薦書(様式1*)】をダウンロードし、出身大学等の指導教員等が作成したものを厳封の上、提出してください(海外在住の方が電子ファイルで提出する場合、厳封する必要はありません)。</p> <p>なお、本学を卒業した方及び卒業見込みの方は、【推薦書(様式1*)】の所見及び推薦理由等の欄は省略することができ、厳封する必要はありません。</p>
5	志望理由書	<p>本学ホームページから【志望理由書(様式2*)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。</p>
6	研究計画書	<p>本学ホームページから【研究計画書(様式3*)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。</p>
7	英語外部試験の成績	<p>下記の①～⑤のうちいずれかの書類の写しを提出してください。ただし、いずれも令和元年6月以降に受験したものに限り、提出してください。ただし、いずれも令和元年6月以降に受験したものに限り、提出してください。</p> <p>なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。</p> <p>① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate 又は Official Score Report)</p> <p>② TOEIC Listening & Reading IP Score Report</p> <p>③ TOEFL-iBT Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report</p> <p>④ TOEFL-ITP Score Report</p> <p>⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic module に限る)</p>
8	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内在住の方 Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374 円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼付してください。なお、郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票は、Web 出願サイトに登録した E-mail アドレスへ送信します。
9	在留カードの写し(両面) 又は旅券の写し * 国籍が日本国以外の方のみ提出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内在住の方 本人確認・在留資格及び在留期間確認のため、在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
10	その他	<p>改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。</p>

※ 様式1～3は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(4) 出願期間

令和3年6月14日(月)～6月21日(月)17時まで【出願期間内必着】

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項28頁の「10出願書類の原本提出について」を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電 話：055-220-8046

E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願にあたり、十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。
- ② 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
- ③ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。
- ④ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

ノートパソコンを持参のうえ、プレゼンテーション用ソフトウェア(Microsoft PowerPoint等)を用い、志望理由書と研究計画書に基づいて口頭発表を行ってください。口頭発表の内容及び関連する基礎学力・専門知識等について試問します。

下記のコースにおいては、次の事項に注意してください。

<先端材料理工学コース>

口述試験においては、アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア(Microsoft PowerPoint等)を用いて口頭発表してください。発表内容に直接関係する事柄と、関連する物理・化学の基礎知識について試問します。また、発表用ファイルのバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

・口述試験時間

コース名等	口頭発表時間	試問時間	備 考
機 械 工 学 コ ー ス	10分	5分	書類審査の結果、口述試験を短縮する場合があります。
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	10分	10分	書類審査の結果、口述試験を短縮する場合があります。
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 コ ー ス	10分	15分	書類審査ないし予備面接(※)の結果、口述試験を免除する場合があります。
メカトロニクス工学コース	10分	15分	書類審査の結果、口述試験を短縮する場合があります。

応用化学コース	5分	7分	予備面接(※)の結果、口述試験を免除する場合があります
先端材料工学コース	5分	10分	
流域環境科学特別教育プログラム	10分	10分	

※ コンピュータ理工学コース、流域環境科学特別教育プログラムでは、海外に在住の方に限り、入学希望者の予備面接を行う場合があります。この予備面接を受けた方は、口述試験を免除することがあります。本年度の予備面接の場所、日時、実施方法、必要書類等については、希望する指導教員との事前打合せの時に連絡します。

(2) 出願書類の審査

【配点】

コース名等	口述試験	出願書類	合計
機械工学コース	100	適・否※	100
電気電子工学コース	適・否	適・否※	
コンピュータ理工学コース	適・否	適・否※	
先端材料工学コース	100	適・否※	100
流域環境科学特別教育プログラム	適・否	適・否※	

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	英語外部試験の成績	合計
メカトロニクス工学コース	100	適・否	50	150
応用化学コース	50	(成績証明書) 50	適・否※	100

※ 出願時に提出された英語外部試験の成績を適・否で判定します。

6 試験日時及び場所

試験開始20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。

(1) 試験日時

試験日：令和3年7月3日(土)

コース名等	試験時間	試験科目
機械工学コース	13時30分～	口述試験
電気電子工学コース	9時30分～	口述試験
コンピュータ理工学コース	9時30分～	口述試験

メカトロニクス工学コース	9時30分～	口述試験
応用化学コース	9時30分～	口述試験
先端材料理工学コース	9時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	9時30分～	口述試験

(2) 集合場所

コース名等	集合場所	試験会場
機械工学コース	A-1号館1階ロビー	各コース会議室等
電気電子工学コース	T-1号館3階ラウンジ	
コンピュータ理工学コース	A-2号館1階ロビー	
メカトロニクス工学コース		
先端材料理工学コース	T-1号館2階 T1-22教室	
流域環境科学特別教育プログラム	B-1号館3階 B1-333教室	
応用化学コース	総合研究棟1階ロビー	総合研究棟内

一般選抜学生募集要項

1 募集人員

コース名等	募集人員
機械工学コース	5 人
電気電子工学コース	8 人
コンピュータ理工学コース	7 人
メカトロニクス工学コース	8 人
土木環境工学コース	15 人
応用化学コース	12 人
先端材料理工学コース	8 人
流域環境科学特別教育プログラム	10 人
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	5 人
合 計	78 人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校^の専攻科を令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方で、令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに授与される見込みの方
- (7) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省の「大学校」等を卒業(修了)した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに卒業(修了)見込みの方)
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までに修了見込みの方

- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注1】 上記の(9)又は(10)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について令和3年5月10日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

【注2】 外国人(留学生)で入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、本頁の「3 出願期間前の審査等」を確認してください。

3 出願期間前の審査等(該当する方のみ)

(1) 外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。審査に必要な提出書類を取り揃え、申請期間内に教学支援部入試課に提出してください。

なお、出願時点において、12頁の「2 出願資格」(1)に該当する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、本学の研究生(国費、政府派遣、私費)及び令和3年度修士課程工学専攻入試までの出願者のうち、既に本学において事前審査等を受けた方は、出願資格の審査を免除する場合がありますので、出願資格審査の申請期間までに工学域支援課教務グループ(電話：055-220-8738)へ照会してください。

出願資格の審査結果は、令和3年5月28日(金)までに本人へ通知します。なお、出願資格を有すると認められた方は、必ず出願期間内に出願手続を完了してください。

ア 出願資格の審査に必要な提出書類

- ① 入学試験出願資格認定審査調書(様式5)
- ② 卒業(見込)証明書等及び成績証明書等(出身大学長等が作成したもの)
- ③ 志望理由書(様式2) *機械工学コースを志願する方は提出不要
- ④ 研究計画書(様式3) *機械工学コースを志願する方は提出不要
- ⑤ 英語外部試験の成績 *本要項14~15頁の「4 出願手続」(3)参照
- ⑥ 在留カードの写し(両面)(日本国内在住の方)、又は旅券の写し(海外在住の方) *本要項14~15頁の「4 出願手続」(3)参照

イ 申請期間

令和3年5月10日(月)～5月14日(金)17時まで【申請期間内必着】

① 日本国内在住の方

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、申請期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず申請期間内に必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

【留意事項】

- ① 申請にあたり、**十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。**
- ② 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

(2) 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年5月10日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

提出先・照会先：教学支援部入試課
〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37
電話：055-220-8046

4 出願手続

- (1) 出願方法 ※ 詳細は、「附録 Web出願利用ガイド」を確認してください。
次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

- 「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

- 全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。

- 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び「令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)で確認してください。

- (3) 出願書類

- 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- 出願書類の受理後は、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類の返却もできません。
- 出願資格審査を受けた方は、資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業(見込)証明書等 * 本学を卒業見込みの方は提出不要	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 12頁の「2出願資格」(2)又は(6)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	志望理由書 * 機械工学コースを志願する方は提出不要	本学ホームページから【志望理由書(様式2*)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。

5	研究計画書 * 機械工学コースを志願する方は提出不要	本学ホームページから【研究計画書(様式3※)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。
6	英語外部試験の成績 * グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを志願する方は提出不要	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の写しを提出してください。ただし、いずれも令和元年6月以降に受験したものに限り、 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate 又は Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
7	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	・ 日本国内在住の方 Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374 円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼付してください。なお、郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票は、Web 出願サイトに登録した E-mail アドレスへ送信します。
8	在留カードの写し(両面)又は旅券の写し * 国籍が日本国以外の方のみ提出	・ 日本国内在住の方 本人確認・在留資格及び在留期間確認のため、在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
9	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※ 様式 1～3 は、出願期間前から下記の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(4) 出願期間

令和3年6月14日(月)～6月21日(月)17時まで【出願期間内必着】

出願期間内に Web 出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

① 日本国内在住の方

Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形 2 号封筒(24cm×33.2cm)に貼付してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の 9 時から 16 時 30 分(12 時から 13 時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項28頁の「10出願書類の原本提出について」を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願にあたり、十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。
- ② 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
- ③ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。
- ④ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

5 選抜方法

各コース・教育プログラムの選抜方法については、次の事項に注意してください。

- (1) 出願書類の受理後は、志望コース・プログラム及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 辞書及び参考書等の持ち込みは一切認めません。
- (3) 19～20頁に配点を記載しています。

<機械工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 筆記試験（数学）

線形代数、微分積分、微分方程式の分野から出題します。

(2) 口述試験（10分）

機械工学分野に関連した試問を行います。

(3) 出願書類の審査

<電気電子工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

筆記試験問題は日本語で出題されますが、英語で解答することも可とします。面接試験も英語でプレゼンテーション・発表・回答することも可とします。

(1) 筆記試験（専門科目120分）

電気回路・電子回路・電磁気学の3分野から出題します。

(2) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由及び入学後の研究計画について、10分間で口頭発表してください。口頭発表の内容及び関連する基礎学力・専門知識等に関して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(3) 出願書類の審査

<コンピュータ理工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験を免除する場合があります。その場合は事前に連絡します。)

筆記試験問題は日本語で出題されますが、英語で解答することも可とします。面接試験も英語でプレゼンテーション・発表・回答することも可とします。

(1) 筆記試験（専門科目）

アルゴリズムとデータ構造、並びにプログラミングの分野から出題します。

(2) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間15分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。志望理由書と研究計画書は、技術的観点を中心にして論理的に展開して記述してください。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(3) 出願書類の審査

<メカトロニクス工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。(出願書類の審査結果により口述試験時間を短縮する場合があります。)

筆記試験問題は日本語で出題されますが、英語で解答することも可とします。面接試験も英語で回答することも可とします。

(1) 筆記試験（数学）

線形代数、微分積分、微分方程式の分野から出題します。

(2) 筆記試験（専門科目）

材料力学、機械力学、プログラミング、デジタル回路、制御工学の5分野のうちから2分野を試験場で選択してください。

(注) 筆記試験において、定規・コンパス・電卓は使用できません。鉛筆（又はシャープペンシル）及び消しゴムのみ使用できます。

(3) 口述試験（試問時間15分）

志望理由書と研究計画書及び関連する事項に関して試問します。

(4) 出願書類の審査

＜土木環境工学コース＞

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

（１）口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

（注）口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

（２）出願書類の審査

＜応用化学コース＞

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

（１）口述試験（口頭発表時間 5分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

（注）口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

（２）出願書類の審査

＜先端材料理工学コース＞

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

（１）口述試験（口頭発表時間 5分、試問時間15分）

口述試験では、願書に記載された志望理由と入学後の研究計画について口頭発表してもらい、発表内容に直接関係する事柄と、発表内容に関連する物理と化学の基礎知識について試問します。事前に以下の準備をしておいてください。

- ・口頭発表で使用するノートパソコン(アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるもの)を持参してください。
- ・プレゼンテーション用ソフトウェア(Microsoft PowerPoint等)を用いて口頭発表してください。
- ・口頭発表用のバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

（２）出願書類の審査

＜流域環境科学特別教育プログラム＞

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。なお、本プログラムでは、海外に在住あるいは長期滞在されている方に限り、出身大学の指導教員又は所属長の推薦書を提出できる方について、入学希望者の予備面接を行う場合があります。この予備面接を受けた方は、口述試験を免除することがあります。本年度の予備面接の場所、日時、実施方法、必要書類等については、希望する指導教員との事前打合せの時に連絡します。

（１）口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

（注）口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

（２）出願書類の審査

<グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 筆記試験（基礎及び専門科目）

出願時に下記の科目群Ⅰ～Ⅲのうちから1つの科目群を選択してください。

科目群Ⅰ：化学A、化学B

科目群Ⅱ：物理、機械材料学

科目群Ⅲ：物理、電磁気学・電子物性

(注)

1. 化学Aの出題内容は、熱力学、相平衡、化学反応速度、原子と分子の電子構造などです。
2. 化学Bの出題内容は、分光・回折、結晶構造、無機材料の電子構造と性質、電解質溶液、化学電池などです。
3. 物理の出題内容は、力と運動の分野で、簡単な微分方程式の内容を含みます。
4. 機械材料学の出題内容は、結晶の構造と欠陥、状態図と組織、材料の変形と加工などです。
5. 電磁気学・電子物性の出題内容は、静電界・静磁界、電磁誘導、エネルギーバンド、キャリアの運動などです。
6. 関数電卓を持参してください。

(2) 筆記試験（外国語）

試験科目は英語とします。

ただし、外国人（留学生）に対する科目は日本語又は英語とします。

出題内容は専門科目に関連したものです。

(3) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表及び発表内容に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

(4) 出願書類の審査

【配点】

コース名等	筆記試験		口述試験	出願書類	合計
電気電子工学コース	(専門科目) 300		適・否	(成績証明書) 適・否 ※	300
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	(基礎及び専門科目) 200	(外国語) 100	100	(成績証明書) 適・否	400

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	合計
応用化学コース	100	適・否 ※	100
先端材料理工学コース	100	適・否 ※	100

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名等	筆記試験		口述試験	英語外部試験の成績以外の出願書類	英語外部試験の成績	合計
機械工学コース	(数学) 150		適・否	(成績証明書) 適・否	70	220
コンピュータ理工学コース	(専門科目) 140		適・否	(成績証明書) 適・否	40	180
メカトロニクス工学コース	(数学) 100	(専門科目) 100※	適・否	(成績証明書) 適・否	50	250
土木環境工学コース	/		60	30	10	100
流域環境科学特別教育プログラム			60	30	10	100

※ 1分野につき50点満点、合計100点満点として扱います。

6 試験日時及び場所

試験開始20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。ただし、試験終了時刻は変更しません。

(1) 試験日時

試験日：令和3年7月3日(土)

コース名等	試験時間	試験科目
機械工学コース	9時30分～10時30分	筆記試験(数学)
	11時00分～	口述試験
電気電子工学コース	9時30分～11時30分	筆記試験(専門科目)
	13時30分～	口述試験
コンピュータ理工学コース	9時30分～11時00分	筆記試験(専門科目)
	13時30分～	口述試験
メカトロニクス工学コース	9時30分～11時30分	筆記試験(数学及び専門科目)
	13時30分～	口述試験
土木環境工学コース	9時30分～	口述試験
応用化学コース	9時30分～	口述試験
先端材料理工学コース	9時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	9時30分～	口述試験
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	9時30分～11時30分	筆記試験(基礎及び専門科目)
	11時40分～12時30分	筆記試験(外国語)
	13時30分～	口述試験

(2) 集合場所

詳細については各コース等から別途連絡いたします。

コース名等	集合場所	試験会場
機 械 工 学 コ ー ス	A-1号館1階 A1-11教室	A1-11教室
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	T-1号館 3階ラウンジ	T1-31教室
コンピュータ理工学コース	A-2号館1階 A2-12教室	A2-12教室
メカトロニクス工学コース	A-2号館1階 A2-11教室	A2-11教室
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	B-3号館2階 T-69教室	B3-203 CE会議室
応 用 化 学 コ ー ス	総合研究棟 1階ロビー	総合研究棟内
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	T-1号館2階 T1-22教室	T-1号館内
流域環境科学特別教育プログラム	B-1号館3階 B1-333教室	B1-336教室
グリーンエネルギー変換工学 特別教育プログラム	B-2号館1階 B2-11教室	B2-11教室

7 その他

前年度以前の筆記試験問題は、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/297>)で公表しています。

社会人特別選抜学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

コース名等	募集人員
機械工学コース	若干人
電気電子工学コース	若干人
コンピュータ理工学コース	若干人
メカトロニクス工学コース	若干人
土木環境工学コース	若干人
応用化学コース	若干人
先端材料理工学コース	若干人
流域環境科学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等において、令和4年3月(令和3年10月入学希望者は、令和3年9月)までの間に、2年以上の勤務経験を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方
- (7) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(9)又は(10)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について令和3年5月10日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

【受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談】

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年5月10日（月）までに教学支援部入試課へ照会してください。

照会先：教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

3 出願手続

- (1) 出願方法 ※ 詳細は、「附録 Web出願利用ガイド」を確認してください。

次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

- ① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

- ② 入学検定料の支払い

↓

- ③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

- 「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

- 全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。
- 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び「令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)で確認してください。

- (3) 出願書類

- 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- 出願書類の受理後は、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類の返却もできません。
- 出願資格審査を受けた方は、資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業証明書等	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 22頁の「2出願資格」(2)又は(7)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	研究計画書	本学ホームページから【研究計画書(様式3*)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。

5	研究業績調書及び 研究業績を証明する書類	卒業論文、学術論文等を有する方のみ、本学ホームページから【研究業績調書(様式4※)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。 なお、【研究業績調書(様式4※)】に記載した内容を証明する書類(学術論文、研究報告書、特許、著書等、代表的なもの10編以内)を添付してください。
6	英語外部試験の成績	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の 写し を提出してください。ただし、いずれも令和元年6月以降に受験したものに限りません。 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate 又は Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
7	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	・ 日本国内在住の方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼付してください。なお、郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票はWeb出願サイトに登録したE-mailアドレスへ送信します。
8	在留カードの写し(両面) 又は旅券の写し * 国籍が日本国以外の方のみ提出	・ 日本国内在住の方 本人確認・在留資格及び在留期間確認のため、在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
9	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※ 様式3と様式4は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(4) 出願期間

令和3年6月14日(月)～6月21日(月)17時まで【出願期間内必着】

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項28頁の「10出願書類の原本提出について」を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願にあたり、十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。
- ② 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
- ③ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。
- ④ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

4 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等）、口述試験（研究計画書に基づく内容等についての試問）の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。また、口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表を行ってください。

下記のコースにおいては、次の事項に注意してください。

<先端材料理工学コース>

口述試験においては、アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。また、発表用ファイルのバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

・口述試験時間

コース名等	口頭発表時間	試問時間
機 械 工 学 コ ー ス	10分	5分
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	10分	10分
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 コ ー ス	10分	15分
メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 コ ー ス	10分	15分
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	10分	5分
応 用 化 学 コ ー ス	10分	10分
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	13分	7分
流域環境科学特別教育プログラム	10分	5分

【配点】

コース名等	口述試験	出願書類	合計
機械工学コース	100	適・否※	100
電気電子工学コース	適・否	適・否※	
コンピュータ理工学コース	適・否	適・否※	
土木環境工学コース	適・否	適・否※	
応用化学コース	100	適・否※	100
先端材料理工学コース	100	適・否※	100
流域環境科学特別教育プログラム	適・否	適・否※	

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	英語外部試験の成績	合計
メカトロニクス工学コース	100	適・否	50	150

5 試験日時及び場所

試験開始20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。

(1) 試験日時

試験日：令和3年7月3日（土）

コース名等	試験時間	試験科目
機械工学コース	13時30分～	口述試験
電気電子工学コース	9時30分～	口述試験
コンピュータ理工学コース	13時30分～	口述試験
メカトロニクス工学コース	13時30分～	口述試験
土木環境工学コース	9時30分～	口述試験
応用化学コース	9時30分～	口述試験
先端材料理工学コース	13時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	9時30分～	口述試験

(2) 集合場所

志願者には、各コース等の責任者から別途連絡します。

6 その他

外国人(留学生)の方は、推薦特別選抜試験又は一般選抜試験を志願してください。

共通事項

1 合格者の発表

合格者の発表は、**令和3年7月16日（金）17時頃**、甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に合格者の受験番号を掲示するとともに、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。電話等による可否の照会には応じられません。

なお、合格者には合格発表当日に、合格通知書を発送します。

2 入学時期

令和4年度前期学生募集志願者は、入学時期を選択できます。出願情報の登録時に、令和3年10月（後期）又は令和4年4月（前期）入学のいずれかから、希望する入学時期を選択してください。また、出願書類の受理後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

10月（後期）入学の手続等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

3 入学手続

(1) 入学手続期間

入学時期	入学手続期間
令和3年10月入学	令和3年9月10日（金）
令和4年4月入学	令和4年3月8日（火）～3月15日（火）

【留意事項】

- ① 入学手続関係書類は、別途発送します。
- ② 上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものと取り扱います。
- ③ 入学手続には、本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 納入金

入学金 282,000円（予定）

入学金は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学金はいかなる理由があっても返還しません。

4 授業料

令和3年10月入学者は、後期分267,900円の予定です。

令和4年4月入学者は、前期分267,900円（年額535,800円）の予定です。

- ・ 授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・ 授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途通知します。

5 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

6 成績優秀者入学金免除制度

本修士課程（工学専攻）では、選抜試験の合格者のうち、学業成績及び人物が優秀な者の一定割合を特待生とし、入学金の全額を免除します（推薦特別選抜の合格者を優先します）。

7 長期履修制度

本修士課程(工学専攻)では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により修学時間が制限される方のために、標準修業年限(2年)を超えて一定期間(最長4年)にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了する場合と同じですので、年間の時間的負担は相当軽減されることとなります。

本制度に関する手続等については、以下の申請期限の約1か月前までに、工学域支援課教務グループ大学院担当(電話：055-220-8730)へ照会してください。

【申請期限】

- (1) 10月(後期)入学希望者8月末日
- (2) 4月(前期)入学希望者2月末日

8 個人情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」という。)において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

9 入学試験における感染症対応について

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など)に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の状態です試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

ただし、新型コロナウイルス感染症への対応については、受験票に同封しますので、確認してください。

10 出願書類の原本提出について

出願書類を電子ファイル(PDF)で提出した方のうち、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。

なお、PDF書類データに改ざん等の虚偽の内容が発覚した場合、入学許可自体を取り消し抹籍処分にすることがありますので、注意してください。

提出書類：出願資格審査申請書類及び出願書類の原本

提出場所：工学域支援課教務グループ窓口(甲府キャンパスA-2号館2階)

(8時30分～17時15分の間 ※12時～13時除く)

提出日：本学への登校初日から1週間以内(厳守)

11 その他

- (1) Web出願サイトの登録において、「志願者連絡先」は、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会・通知等を確実に受信できる住所・電話番号を登録してください。なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。(受験番号、氏名、志望の専攻・コース等名、変更した内容を明記したものを郵送してください。)
- (2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課(電話：055-220-8053)へ照会してください。

後期募集

(令和4年4月入学・令和4年10月入学)

推薦特別選抜学生募集要項

現在、科学技術の進展と広がり著しく、社会的要請として既存の学問体系の枠を超えた学際的学問分野及び新研究分野の創造が望まれています。

この視点から、本修士課程(工学専攻)では、特色ある教育と研究の場の提供をめざして、各専門分野又は各専門分野を超えた学問・研究に取り組む積極的、意欲的な学生を対象に口述試験及び出願書類の審査による特別選抜を実施します。

1 募集人員

コース名	募集人員
コンピュータ理工学コース	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方で、出身大学等において優秀な成績を修め指導教員等から本人の能力について推薦を得られる方、かつ、合格後に入学することを確約できる方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校(専攻科)を令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方で、令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方
- (5) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省の「大学校」等を卒業(修了)した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに卒業(修了)見込みの方)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方
- (7) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

【注1】 上記の(7)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について令和3年10月11日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

【注2】 外国人(留学生)で入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、本要項30頁の「3 出願期間前の審査等」を確認してください。

3 出願期間前の審査等（該当する方のみ）

（1）外国人（留学生）の出願資格の審査

外国人（留学生）で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。審査に必要な提出書類を取り揃え、申請期間内に教学支援部入試課に提出してください。

なお、出願時点において、29頁の「2 出願資格」（1）に該当する方（国費、政府派遣、私費を問いません。）については、出願資格の審査を免除します。

また、本学の研究生（国費、政府派遣、私費）及び令和4年度修士課程工学専攻（前期募集）入試までの出願者のうち、既に本学において事前審査等を受けた方については、出願資格の審査を免除する場合がありますので、出願資格審査の申請期間までに工学域支援課教務グループ（電話：055-220-8738）へ照会してください。

出願資格の審査結果は、令和3年10月29日（金）までに本人へ通知します。なお、出願資格を有すると認められた方は、必ず出願期間内に出願手続を完了してください。

ア 出願資格の審査に必要な提出書類

- ① 入学試験出願資格認定審査調書（様式5）
- ② 卒業（見込）証明書等及び成績証明書等（出身大学長等が作成したもの）
- ③ 推薦書（様式1）
- ④ 志望理由書（様式2）
- ⑤ 研究計画書（様式3）
- ⑥ 英語外部試験の成績 *本要項31～32頁の「4 出願手続」（3）参照
- ⑦ 在留カードの写し（両面）（日本国内在住の方）、又は旅券の写し（海外在住の方） *本要項31～32頁の「4 出願手続」（3）参照

イ 申請期間

令和3年10月11日（月）～ 10月15日（金）17時まで【申請期間内必着】

① 日本国内在住の方

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、申請期間中の9時から16時30分（12時から13時除く）の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。（土・日・祝日は除く。）

② 海外在住の方

必ず申請期間内に、必要な提出書類を電子ファイル（PDF）で教学支援部入試課（E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp）へ送信してください。

【留意事項】

- ① 申請にあたり、**十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。**
- ② 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

（2）受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年10月11日（月）までに教学支援部入試課へ照会してください。

提出先・照会先：教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

4 出願手続

- (1) 出願方法 ※ 詳細は、「附録 Web出願利用ガイド」を確認してください。
次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

・ 「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

・ 全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。

・ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び「令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)で確認してください。

- (3) 出願書類

- ・ 出願書類には、各自が準備する書類と Web 出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- ・ **英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。**
- ・ 出願書類の受理後は、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類の返却もできません。
- ・ 出願資格審査を受けた方は、資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業(見込)証明書等 * 本学を卒業見込みの方は提出不要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・ 29頁の「2出願資格」(2)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)、又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	推薦書	<p>本学ホームページから【推薦書(様式1[※])】をダウンロードし、出身大学等の指導教員等が作成したものを厳封の上、提出してください(海外在住の方が電子ファイルで提出する場合、厳封の必要はありません)。</p> <p>なお、本学を卒業した方及び卒業見込みの方は、【推薦書(様式1[※])】の所見及び推薦理由等の欄は省略することができ、厳封する必要はありません。</p>
5	志望理由書	本学ホームページから【志望理由書(様式2 [※])】をダウンロードし、パソコンで作成してください。

6	研究計画書	本学ホームページから【研究計画書(様式3※)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。
7	英語外部試験の成績	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の 写し を提出してください。ただし、いずれも令和元年11月以降に受験したものに限り、 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate 又は Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Test Taker Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
8	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内在住の方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼付してください。なお、郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票は、Web出願サイトに登録したE-mailアドレスに送付します。
9	在留カードの写し(両面) 又は旅券の写し * 国籍が日本国以外の方のみ提出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国内在住の方 本人確認・在留資格及び在留期間確認のため、在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
10	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※ 様式1～3は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項
<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(4) 出願期間

令和3年11月15日(月)～11月22日(月)17時まで【出願期間内必着】

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail:web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項51頁の「10出願書類の原本提出について」を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願にあたり、十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。
- ② 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
- ③ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。
- ④ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

5 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験

ノートパソコンを持参のうえ、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用い、志望理由書と研究計画書に基づいて口頭発表を行ってください。口頭発表の内容及び関連する基礎学力・専門知識等について試問します。

・口述試験時間

コース名	口頭発表時間	試問時間	備考
コンピュータ理工学コース	10分	15分	書類審査なし予備面接（注）の結果、口述試験を免除する場合があります。

（注） 海外に在住の方に限り、入学希望者の予備面接を行う場合があります。この予備面接を受けた方は、口述試験を免除することがあります。本年度の予備面接の場所、日時、実施方法、必要書類等については、希望する指導教員との事前打合せの時に連絡します。

(2) 出願書類の審査

【配点】

コース名	口述試験	出願書類
コンピュータ理工学コース	適・否	適・否※

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

6 試験日時及び場所

試験開始20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。

(1) 試験日時

試験日：令和3年12月4日（土）

コース名	試験時間	試験科目
コンピュータ理工学コース	9時30分～	口述試験

(2) 集合場所

コース名	集合場所	試験会場
コンピュータ理工学コース	A-2号館1階ロビー	コース会議室等

一般選抜学生募集要項

1 募集人員

コース名等	募集人員
機械工学コース	若干人
電気電子工学コース	若干人
コンピュータ理工学コース	若干人
メカトロニクス工学コース	若干人
土木環境工学コース	若干人
応用化学コース	若干人
先端材料理工学コース	若干人
流域環境科学特別教育プログラム	若干人
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は短期大学若しくは高等専門学校の専攻科を令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方で、令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに同法の規定により学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに授与される見込みの方
- (7) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省の「大学校」等を卒業(修了)した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに卒業(修了)見込みの方)
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までに修了見込みの方
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方

- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注1】 上記の(9)又は(10)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について令和3年10月11日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

【注2】 外国人(留学生)で入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、本頁の「3 出願期間前の審査等」を確認してください。

3 出願期間前の審査等(該当する方のみ)

(1) 外国人(留学生)の出願資格の審査

外国人(留学生)で入学を志願する方については、事前に出願資格の審査を行います。審査に必要な提出書類を取り揃え、申請期間内に教学支援部入試課に提出してください。

なお、出願時点において、35頁の「2 出願資格」(1)に該当する方(国費、政府派遣、私費を問いません。)については、出願資格の審査を免除します。

また、本学の研究生(国費、政府派遣、私費)及び令和4年度修士課程工学専攻(前期募集)入試までの出願者のうち、既に本学において事前審査等を受けた方については、出願資格の審査を免除する場合がありますので、出願資格審査の申請期間までに工学域支援課教務グループ(電話:055-220-8738)へ照会してください。

出願資格の審査結果は、令和3年10月29日(金)までに本人へ通知します。なお、出願資格を有すると認められた方は、必ず出願期間内に出願手続を完了してください。

ア 出願資格の審査に必要な提出書類

- ① 入学試験出願資格認定審査調書(様式5)
- ② 卒業(見込)証明書等及び成績証明書等(出身大学長等が作成したもの)
- ③ 志望理由書(様式2) *機械工学コースを志願する方は提出不要
- ④ 研究計画書(様式3) *機械工学コースを志願する方は提出不要
- ⑤ 英語外部試験の成績 *本要項37~38頁の「4 出願手続」(3)参照
- ⑥ 在留カードの写し(両面)(日本国内在住の方)、又は旅券の写し(海外在住の方) *本要項37~38頁の「4 出願手続」(3)参照

イ 申請期間

令和3年10月11日(月) ~ 10月15日(金) 17時まで【申請期間内必着】

① 日本国内在住の方

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず申請期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、申請期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず申請期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

【留意事項】

- ① 申請にあたり、**十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。**
- ② 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

(2) 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年10月11日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

提出先・照会先: 教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37

電話:055-220-8046

4 出願手続

- (1) 出願方法 ※ 詳細は、「附録 Web出願利用ガイド」を確認してください。
次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

・ 「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

・ 全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。

・ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び「令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)で確認してください。

- (3) 出願書類

- ・ 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- ・ **英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。**
- ・ 出願書類の受理後は、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類の返却もできません。
- ・ 出願資格審査を受けた方は、資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業(見込)証明書等 * 本学を卒業見込みの方は提出不要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学長等が作成したものを提出してください。 ・ 35頁の「2出願資格」(2)又は(6)により入学を志願する方は、学位授与証明書・学位授与申請受理証明書(大学改革支援・学位授与機構が発行したもの)又は学位授与申請予定証明書(在籍学校長が発行したもの)を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	志望理由書 * 機械工学コースを志願する方は提出不要	本学ホームページから【志望理由書(様式2*)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。
5	研究計画書 * 機械工学コースを志願する方は提出不要	本学ホームページから【研究計画書(様式3*)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。

6	英語外部試験の成績 * グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを志願する方は提出不要	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の 写し を提出してください。ただし、いずれも令和元年11月以降に受験したものに限り、 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate 又は Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Test Taker Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
7	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	・ 日本国内在住の方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼付してください。なお、郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票は、Web出願サイトに登録したE-mailアドレスに送付します。
8	在留カードの写し(両面)又は旅券の写し * 国籍が日本国以外の方のみ提出	・ 日本国内在住の方 本人確認・在留資格及び在留期間確認のため、在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
9	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※ 様式2と様式3は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(4) 出願期間

令和3年11月15日(月)～11月22日(月)17時まで【出願期間内必着】

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail:web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、合格した方は、本学登校時に提出書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項51頁の「10出願書類の原本提出について」を確認してください。

- (6) 出願書類等の提出先・照会先
 教学支援部入試課
 〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37
 電話：055-220-8046
 E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願にあたり、十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。
- ② 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
- ③ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。
- ④ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

5 選抜方法

各コース・教育プログラムの選抜方法については、次の事項に注意してください。

- (1) 出願書類の受理後は、志望コース・プログラム及び受験科目の変更は認めません。
- (2) 辞書及び参考書等の持ち込みは一切認めません。
- (3) 42頁に配点を記載しています。

<機械工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

- (1) 筆記試験（数学）

線形代数、微分積分、微分方程式の分野から出題します。

- (2) 口述試験（10分）

機械工学分野に関連した試問を行います。

- (3) 出願書類の審査

<電気電子工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

筆記試験問題は日本語で出題されますが、英語で解答することも可とします。面接試験も英語でプレゼンテーション・発表・回答することも可とします。

- (1) 筆記試験（専門科目120分）

電気回路・電子回路・電磁気学の3分野から出題します。

- (2) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由及び入学後の研究計画について、10分間で口頭発表してください。口頭発表の内容及び関連する基礎学力・専門知識等に関して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

- (3) 出願書類の審査

<コンピュータ理工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。（出願書類の審査結果により口述試験を免除する場合があります。その場合は事前に連絡します。）

筆記試験問題は日本語で出題されますが、英語で解答することも可とします。面接試験も英語でプレゼンテーション・発表・回答することも可とします。

(1) 筆記試験（専門科目）

アルゴリズムとデータ構造、並びにプログラミングの分野から出題します。

(2) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間15分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容に関して試問します。志望理由書と研究計画書は、技術的観点を中心にして論理的に展開して記述してください。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

(3) 出願書類の審査

<メカトロニクス工学コース>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。（出願書類の審査結果により口述試験時間を短縮する場合があります。）

筆記試験問題は日本語で出題されますが、英語で解答することも可とします。面接試験も英語で回答することも可とします。

(1) 筆記試験（数学）

線形代数、微分積分、微分方程式の分野から出題します。

(2) 筆記試験（専門科目）

材料力学、機械力学、プログラミング、デジタル回路、制御工学の5分野のうちから2分野を試験場で選択してください。

(注) 筆記試験において、定規・コンパス・電卓は使用できません。鉛筆（又はシャープペンシル）及び消しゴムのみ使用できます。

(3) 口述試験（試問時間15分）

志望理由書と研究計画書及び関連する事項に関して試問します。

(4) 出願書類の審査

<土木環境工学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<応用化学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験（口頭発表時間 5 分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<先端材料理工学コース>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 口述試験（口頭発表時間 5 分、試問時間15分）

口述試験では、願書に記載された志望理由と入学後の研究計画について口頭発表してもらい、発表内容に直接関係する事柄と、発表内容に関連する物理と化学の基礎知識について試問します。事前に以下の準備をしておいてください。

- ・口頭発表で使用するノートパソコン(アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるもの)を持参してください。
- ・プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。
- ・口頭発表用のバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

(2) 出願書類の審査

<流域環境科学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、口述試験及び出願書類の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。なお、本プログラムでは、海外に在住あるいは長期滞在されている方に限り、出身大学の指導教員又は所属長の推薦書を提出できる方について、入学希望者の予備面接を行う場合があります。この予備面接を受けた方は、口述試験を免除することがあります。本年度の予備面接の場所、日時、実施方法、必要書類等については、希望する指導教員との事前打合せの時に連絡します。

(1) 口述試験（口頭発表時間10分、試問時間10分）

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表の内容及び専門科目等に関連して試問します。

(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(2) 出願書類の審査

<グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム>

入学者の選抜にあたっては、筆記試験、口述試験、出身大学等学部の成績証明書等の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。

(1) 筆記試験（基礎及び専門科目）

出願時に下記の科目群Ⅰ～Ⅲのうちから1つの科目群を選択してください。

科目群Ⅰ：化学A、化学B

科目群Ⅱ：物理、機械材料学

科目群Ⅲ：物理、電磁気学・電子物性

(注)

1. 化学Aの出題内容は、熱力学、相平衡、化学反応速度、原子と分子の電子構造などです。
2. 化学Bの出題内容は、分光・回折、結晶構造、無機材料の電子構造と性質、電解質溶液、化学電池などです。
3. 物理の出題内容は、力と運動の分野で、簡単な微分方程式の内容を含みます。
4. 機械材料学の出題内容は、結晶の構造と欠陥、状態図と組織、材料の変形と加工などです。
5. 電磁気学・電子物性の出題内容は、静電界・静磁界、電磁誘導、エネルギーバンド、キャリアの運動などです。
6. 関数電卓を持参してください。

(2) 筆記試験 (外国語)

試験科目は英語とします。
ただし、外国人 (留学生) に対する科目は日本語又は英語とします。
出題内容は専門科目に関連したものです。

(3) 口述試験 (口頭発表時間10分、試問時間10分)

志望理由書と研究計画書に基づく口頭発表及び発表内容に関連して試問します。
(注) 口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア (Microsoft PowerPoint等) を用いて口頭発表してください。

(4) 出願書類の審査

【配点】

コース名等	筆記試験		口述試験	出願書類	合計
電気電子工学コース	(専門科目) 300		適・否	(成績証明書) 適・否 ※	300
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	(基礎及び専門科目) 200	(外国語) 100	100	(成績証明書) 適・否	400

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	合計
応用化学コース	100	適・否 ※	100
先端材料理工学コース	100	適・否 ※	100

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名等	筆記試験		口述試験	英語外部試験の成績以外の出願書類	英語外部試験の成績	合計
機械工学コース	(数学) 150		適・否	(成績証明書) 適・否	70	220
コンピュータ理工学コース	(専門科目) 140		適・否	(成績証明書) 適・否	40	180
メカトロニクス工学コース	(数学) 100	(専門科目) 100※	適・否	(成績証明書) 適・否	50	250
土木環境工学コース	/		60	30	10	100
流域環境科学特別教育プログラム			60	30	10	100

※ 1分野につき50点満点、合計100点満点として扱います。

6 試験日時及び場所

試験開始20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。ただし、試験終了時刻は変更しません。

(1) 試験日時

試験日：令和3年12月4日(土)

コース名等	試験時間	試験科目
機 械 工 学 コ ー ス	9時30分～10時30分	筆記試験(数学)
	11時00分～	口述試験
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	9時30分～11時30分	筆記試験(専門科目)
	13時30分～	口述試験
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 コ ー ス	9時30分～11時00分	筆記試験(専門科目)
	13時30分～	口述試験
メカトロニクス工学コース	9時30分～11時30分	筆記試験(数学及び専門科目)
	11時45分～	口述試験
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	9時30分～	口述試験
応 用 化 学 コ ー ス	9時30分～	口述試験
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	9時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	9時30分～	口述試験
グリーンエネルギー変換工学 特別教育プログラム	9時30分～11時30分	筆記試験(基礎及び専門科目)
	11時40分～12時30分	筆記試験(外国語)
	13時30分～	口述試験

(2) 集合場所

詳細については各コース等から別途連絡いたします。

コース名等	集合場所	試験会場
機 械 工 学 コ ー ス	A-1号館1階 A1-11教室	A1-11教室
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	T-1号館 3階ラウンジ	T1-31教室
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 コ ー ス	A-2号館1階 A2-12教室	A2-12教室
メカトロニクス工学コース	A-2号館1階 A2-11教室	A2-11教室
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	B-3号館2階 T-69教室	B3-203 CE会議室

応用化学コース	総合研究棟 1階ロビー	総合研究棟内
先端材料理工学コース	T-1号館2階 T1-22教室	T-1号館内
流域環境科学特別教育プログラム	B-1号館3階 B1-333教室	B1-336教室
グリーンエネルギー変換工学 特別教育プログラム	B-2号館1階 B2-11教室	B2-11教室

7 その他

前年度以前の筆記試験問題は、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/297>)で公表しています。

社会人特別選抜学生募集要項

各種の研究・教育・行政機関又は企業等に勤務する方を対象に、筆記試験を免除して特別選抜による学生募集を実施します。

1 募集人員

コース名等	募集人員
機械工学コース	若干人
電気電子工学コース	若干人
コンピュータ理工学コース	若干人
メカトロニクス工学コース	若干人
土木環境工学コース	若干人
応用化学コース	若干人
先端材料理工学コース	若干人
流域環境科学特別教育プログラム	若干人

2 出願資格

各種の研究機関、教育機関又は企業等において、令和4年3月(令和4年10月入学希望者は、令和4年9月)までの間に、2年以上の勤務経験を有し、次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方
- (6) 文部科学大臣が大学院の入学に関し、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方(各省庁の「大学校」等を卒業(修了)した方
- (7) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された方
- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し所定の単位を優れた成績をもって修得したものと大学院において認めた方
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

【注】 上記の(9)又は(10)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、提出書類等について令和3年10月11日(月)までに教学支援部入試課へ照会してください。

【受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談】

病気・負傷や障害等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和3年10月11日（月）までに教学支援部入試課へ照会してください。

照会先：教学支援部入試課

〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

3 出願手続

- (1) 出願方法 ※ 詳細は、「附録 Web出願利用ガイド」を確認してください。

次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

- ① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルの登録

↓

- ② 入学検定料の支払い

↓

- ③ 出願書類の印刷・作成・提出【出願期間内必着】

- (2) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円

- 「検定料の支払い」画面で次の①～④の中から支払方法を選択してください。クレジットカード以外の支払方法は、入金が確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング

- 全ての支払方法において、別途必要な手数料は志願者負担になります。
- 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

本学では、「東日本大震災」、「平成28年熊本地震」、「平成30年7月豪雨」、「平成30年北海道胆振東部地震」、「令和元年台風第15号及び第19号」及び「令和2年4月以降に発生した災害により災害救助法の適用となる地域」の被災者で、本学が実施する選抜試験を志願する方に対して、入学検定料免除の特別措置を行います。免除を希望される方は、出願期間前に教学支援部入試課へ照会してください。

免除申請書類等の詳細については、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)で確認してください。

- (3) 出願書類

- 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- 英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- 出願書類の受理後は、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類の返却もできません。
- 出願資格審査を受けた方は、資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

NO	提出書類	摘 要
1	卒業証明書等	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したものを提出してください。 45頁の「2出願資格」(2)又は(7)により入学を志願する方は、学位授与証明書を提出してください。
2	成績証明書	出身大学長等が作成したものを提出してください。
3	履歴書	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。
4	研究計画書	本学ホームページから【研究計画書(様式3*)】をダウンロードし、各選抜及び各コースで指定した記載内容に基づいて、パソコンで作成してください。

5	研究業績調書及び 研究業績を証明する書類	卒業論文、学術論文等を有する方のみ、本学ホームページから【研究業績調書(様式4※)】をダウンロードし、パソコンで作成してください。 なお、【研究業績調書(様式4※)】に記載した内容を証明する書類(学術論文、研究報告書、特許、著書等、代表的なもの10編以内)を添付してください。
6	英語外部試験の成績	下記の①～⑤のうちいずれかの書類の <u>写し</u> を提出してください。ただし、いずれも令和元年11月以降に受験したものに限りです。 なお、出願時に提出できない場合は、「提出できない旨の理由書(様式任意)」を提出してください。その場合、試験当日に必ず原本を持参してください。 ① TOEIC Listening & Reading 公式認定証 (Official Score Certificate 又は Official Score Report) ② TOEIC Listening & Reading IP Score Report ③ TOEFL-iBT Test Taker Score Report ④ TOEFL-ITP Score Report ⑤ INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM (IELTS) Test Report Form (ただし、Academic moduleに限る)
7	郵便切手貼付用紙 (受験票送付用)	・ 日本国内から出願する方 Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【郵便切手貼付用紙】に、374円分の郵便切手(速達料を含む)を剥がれないように貼付してください。なお、郵便切手は過不足なく用意してください。 ・ 海外在住の方 提出する必要はありません。受験票は、Web出願サイトに登録したE-mailアドレスに送信します。
8	在留カードの写し(両面) 又は旅券の写し * 国籍が日本国以外の方のみ提出	・ 日本国内在住の方 本人確認・在留資格及び在留期間確認のため、在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
9	その他	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

※ 様式3と様式4は、出願期間前から下記のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ>入試情報>大学院入試>募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(4) 出願期間

令和3年11月15日(月)～11月22日(月)17時まで【出願期間内必着】

出願期間内にWeb出願サイトで「出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト】(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、提出してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を各自で用意した市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の9時から16時30分(12時から13時除く)の間に教学支援部入試課窓口へ提出してください。(土・日・祝日は除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail:web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項51頁の「10出願書類の原本提出について」を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話：055-220-8046

E-mail：web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願にあたり、十分時間に余裕を持って希望する指導教員に連絡をし、事前打合せを行ってください。
- ② 登録した出願情報及び出願書類の内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
- ③ 出願書類の受理後は、いかなる理由があっても、住所と連絡先を除き、登録した出願情報の内容変更は認めません。
- ④ 登録した出願情報及び出願書類の内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

4 選抜方法

入学者の選抜にあたっては、研究業績（学術論文、研究報告、学会等における発表、卒業論文、著書、特許等）、口述試験（研究計画書に基づく内容等についての試問）の審査結果を総合して判定し、合格者を決定します。また、口述試験においては、ノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表を行ってください。

下記のコースにおいては、次の事項に注意してください。

＜先端材料理工学コース＞

口述試験においては、アナログRGB[D-sub 15ピン]規格で映像出力できるノートパソコンを持参し、プレゼンテーション用ソフトウェア（Microsoft PowerPoint等）を用いて口頭発表してください。また、発表用ファイルのバックアップを、USB接続できる媒体に保存して持参してください。

・口述試験時間

コース名等	口頭発表時間	試問時間
機 械 工 学 コ ー ス	10分	5分
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	10分	10分
コ ン ピ ュ ー タ 理 工 学 コ ー ス	10分	15分
メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 コ ー ス	10分	15分
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	10分	5分
応 用 化 学 コ ー ス	10分	10分
先 端 材 料 理 工 学 コ ー ス	13分	7分
流域環境科学特別教育プログラム	10分	5分

【配点】

コース名等	口述試験	出願書類	合計
機械工学コース	100	適・否※	100
電気電子工学コース	適・否	適・否※	
コンピュータ理工学コース	適・否	適・否※	
土木環境工学コース	適・否	適・否※	
応用化学コース	100	適・否※	100
先端材料理工学コース	100	適・否※	100
流域環境科学特別教育プログラム	適・否	適・否※	

※ 出願書類の審査には英語外部試験の成績を含みます。

コース名	口述試験	出願書類	英語外部試験の成績	合計
メカトロニクス工学コース	100	適・否	50	150

5 試験日時及び場所

試験開始20分前までに、(2)の集合場所に集合してください。

※ 遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。

(1) 試験日時

試験日：令和3年12月4日（土）

コース等名	試験時間	試験科目
機械工学コース	13時30分～	口述試験
電気電子工学コース	9時30分～	口述試験
コンピュータ理工学コース	13時30分～	口述試験
メカトロニクス工学コース	13時30分～	口述試験
土木環境工学コース	9時30分～	口述試験
応用化学コース	9時30分～	口述試験
先端材料理工学コース	13時30分～	口述試験
流域環境科学特別教育プログラム	9時30分～	口述試験

(2) 集合場所

志願者には、各コース等の責任者から別途連絡します。

6 その他

外国人(留学生)の方は、推薦特別選抜試験又は一般選抜試験を志願してください。

共通事項

1 合格者の発表

合格者の発表は、**令和3年12月17日（金）17時頃**、甲府東キャンパスA-2号館正面入り口に合格者の受験番号を掲示するとともに、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp>)にも掲載します。電話等による可否の照会には応じられません。

なお、合格者には合格発表当日に、合格通知書を発送します。

2 入学時期

令和4年度後期学生募集志願者は、入学時期を選択できます。出願情報の登録時に、令和4年4月(前期)又は令和4年10月(後期)入学のいずれかから、希望する入学時期を選択してください。また、出願書類の受理後は、「入学時期の変更」が認められませんので、ご注意ください。

10月(後期)入学の手続等について、不明な点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

3 入学手続

(1) 入学手続期間

入学時期	入学手続期間
令和4年4月入学	令和4年3月8日（火）～3月15日（火）
令和4年10月入学	令和4年9月9日（金）

【留意事項】

- ① 入学手続関係書類は、別途発送します。
- ② 上記の入学手続期間内に入学手続を完了しなかった方は、本学への入学の意志がなく入学を辞退したものと取り扱います。
- ③ 入学手続には、本学の受験票の提示が必要となりますので、試験終了後も大切に保管してください。

(2) 納入金

入学料 282,000円（予定）

入学料は、入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

4 授業料

令和4年4月入学者は、前期分267,900円（年額535,800円）の予定です。

令和4年10月入学者は、後期分267,900円の予定です。

- ・ 授業料は、予定額であり、入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・ 授業料は原則、口座引き落としとなっています。手続については、別途通知します。

5 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

6 成績優秀者入学料免除制度

本修士課程(工学専攻)では、選抜試験の合格者のうち、学業成績及び人物が優秀な者の一定割合を特待生とし、入学料の全額を免除します(推薦特別選抜の合格者を優先します)。

7 長期履修制度

本修士課程(工学専攻)では、長期履修制度を実施しています。

この制度は、職業を有していること等の理由により修学時間が制限される方のために、標準修業年限(2年)を超えて一定期間(最長4年)にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了する場合と同じですので、年間の時間的負担は相当軽減されることとなります。

本制度に関する手続等については、以下の申請期限の約1か月前までに、工学域支援課教務グループ大学院担当(電話：055-220-8730)へ照会してください。

【申請期限】

- (1) 4月(前期)入学希望者2月末日
- (2) 10月(後期)入学希望者8月末日

8 個人情報の取扱いについて

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法検討資料作成のために利用します。
- (3) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」という。)において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部または一部を提供します。

9 入学試験における感染症対応について

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など)に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の状態です試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

ただし、新型コロナウイルス感染症への対応については、受験票に同封しますので、確認してください。

10 出願書類の原本提出について

出願書類を電子ファイル(PDF)で提出した方のうち、合格した方は、本学登校時に出願書類の原本を提出してください。

なお、PDF書類データに改ざん等の虚偽の内容が発覚した場合、入学許可自体を取り消し抹籍処分にすることがありますので、注意してください。

提出書類：出願資格審査申請書類及び出願書類の原本

提出場所：工学域支援課教務グループ窓口(甲府キャンパスA-2号館2階)

(8時30分～17時15分の間 *12時～13時除く)

提出日：本学への登校初日から1週間以内(厳守)

11 その他

- (1) Web出願サイトの登録において、「志願者連絡先」は、出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会・通知等を確実に受信できる住所・電話番号を登録してください。なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。(受験番号、氏名、志望の専攻・コース等名、変更した内容を明記したものを郵送してください。)
- (2) 奨学金を希望する方は、合格者発表後、教学支援部学生支援課(電話：055-220-8053)へ照会してください。

コース内容

大学院医工農学総合教育部修士課程 工学専攻 コース内容

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
機械工学コース	教授 藤 森 篤	システムのモデリングと制御、移動ロボット	熱工学特論 機械力学・制御特論 流体力学特論 材料力学特論 加工学特論 機械材料学特論 機械システム工学特論
	教授 武 田 哲 明	熱・物質移動現象に関する研究	
	教授 中 山 栄 浩	金属材料のマイクロ組織と材料特性に関する研究	
	教授 岡 澤 重 信	計算工学とその自動車工学への適用に関する研究	
	教授 伊 藤 安 海	医療・福祉及び安全・安心に資する技術・機器の開発	
	教授 野 田 善 之	動的システムの解析と制御に関する研究	
	准教授 角 田 博 之	数値シミュレーションによる乱流解析	
	准教授 山 本 義 暢	流れの高精度予測とモデリング	
	准教授 鳥 山 孝 司	熱エネルギーの有効利用法に関する研究	
	准教授 青 柳 潤 一 郎	宇宙機搭載用ロケットの物理現象解明および性能評価	
	准教授 孕 石 泰 丈	画像情報を用いた加工・計測の研究	
	准教授 船 谷 俊 平	燃焼工学および可視化計測に関する研究	
	准教授 鍵 山 善 之	生体解析および術前計画操作アシストを対象とする外科手術支援研究	
	准教授 浮 田 芳 昭	マイクロシステムとナノマイクロ計測技術に関する研究	

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
電気電子工学コース	教授 内山 智香子	ナノシステムにおける量子輸送制御、ミクロな熱機関に関する研究	光波工学特論 量子工学特論 電子デバイス工学特論 結晶工学特論 信号システム工学特論 回路工学特論 計測工学特論 発送電工学特論 パワー半導体モジュール工学特論
	教授 大木 真	信号処理、特に多次元及び適応信号処理システムの理論と応用	
	教授 垣尾 省司	弾性表面波デバイス、光導波デバイス	
	教授 佐藤 隆英	集積回路 (LSI) 設計、電源回路設計	
	教授 埜 雅典	通信用途向け各種光信号処理デバイス・システム、医用信号処理	
	教授 矢野 浩司	パワー半導体デバイスの設計及び作製	
	教授 鍋谷 暢一	化合物半導体の結晶成長と物性	
	准教授 宇野 和行	レーザー装置の開発とレーザー加工・レーザー医療の研究	
	准教授 小野島 紀夫	高性能な有機トランジスタや有機太陽電池の作製	
	准教授 白木 一郎	走査型プローブ顕微鏡法によるナノ構造解析と物性計測	
	准教授 關谷 尚人	超伝導体を用いた高周波デバイスの開発	
	准教授 チェン リチュイン	質量分析のための新規イオン化法の開発及び応用研究	
	准教授 二宮 啓	質量分析・表面分析用の新規イオンビーム銃の研究開発	
	准教授 本間 聡	光機能デバイス、光スイッチ・メモリの開発と応用	
	准教授 村中 司	微細加工による化合物半導体機能性ナノ構造の作製と応用	
	助教 鈴木 雅視	圧電薄膜の作製・評価、弾性波デバイス応用	
	助教 中村 一彦	無線通信システム、通信用信号処理技術	
	助教 橋本 一成	ナノ系の量子輸送制御の理論研究	
助教 山本 真幸	半導体スイッチング素子の設計と評価		

注意：電気電子工学コースを担当する教員の一部は、グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムでも指導します。

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
コンピュータ 理工学 コース	教授 岩 沼 宏 治	離散データマイニング、定理自動証明、人工知能基礎	大規模離散構造処理特論 ソフトウェア工学特論 並列コンピューティング特論 機械学習特論 ユーザ中心設計学特論 デジタル音声処理特論 言語・画像メディア処理特論 コンピュータビジョン特論
	教授 大 淵 竜太郎	2次元画像や3次元形状の解析・認識・検索、知的視覚情報処理	
	教授 小 澤 賢 司	音響信号処理、聴覚情報処理、視聴覚感性情報処理	
	教授 郷 健太郎	インタラクティブシステムのデザイン	
	教授 高 橋 正 和	ソフトウェア工学、高信頼性ソフトウェア	
	教授 服 部 元 信	ニューラルネットワークに関する研究	
	教授 福 本 文 代	自然言語処理、計算言語学、情報検索	
	教授 茅 暁 陽	画像処理、CG、VR/AR、視覚化	
	教授 渡 辺 喜 道	ソフトウェア開発に関する研究	
	准教授 安 藤 英 俊	分散協調型システム及び対話的マルチメディア技術	
	准教授 小 俣 昌 樹	ヒューマンコンピュータインタラクションに関する研究	
	准教授 木 下 雄一朗	感性情報処理、ヒューマンコンピュータインタラクションに関する研究	
	准教授 鈴 木 智 博	高性能計算	
	准教授 豊 浦 正 広	画像・映像処理、AIとIoTによるデザイン	
准教授 鍋 島 英 知	人工知能、知識表現と推論、制約充足処理系に関する研究		

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
メカトロニクス工学コース	教授 石井孝明	強力超音波利用アクチュエータに関する研究	メカトロニクス工学特論 ロボット工学特論 人間工学特論 組込みシステム設計特論 材料工学特論 アクチュエータ工学特論 電磁波工学特論 通信制御ネットワーク特論 医療・福祉機器特論
	教授 小谷信司	知能移動ロボットの誘導とビジョンによる環境理解	
	教授 鈴木良弥	情報検索、自然言語処理、音声言語理解	
	教授 寺田英嗣	ロボットシステム及びアクチュエータに関する研究	
	教授 森澤正之	インテリジェントセンサーおよび味覚情報処理	
	准教授 石田和義	摩擦・摩耗・潤滑に関する研究	
	准教授 岡村美好	ユニバーサルデザイン、デザイン科学	
	准教授 北村敏也	空気流による発生音および低周波騒音に関する研究	
	准教授 金蓮花	光計測・光エレクトロニクスの基礎研究及びその応用	
	准教授 清水毅	画像を応用した形状計測技術の開発	
	准教授 鈴木裕	医用生体工学におけるエレクトロニクス及び信号処理技術の応用	
	准教授 丹沢勉	ステレオビジョンによる環境理解	
	准教授 平晋一郎	微細加工における加工精度の向上及び加工機構の解明に関する研究	
	准教授 西崎博光	音情報処理及び音声言語情報処理	
	准教授 牧野浩二	人間ロボット協調制御に関する研究	
助教 北野雄大	腕部装着型支援ロボットの開発		
助教 渡辺寛望	画像処理によるウェアラブル移動支援		

コース名	分野名	指導教員	主な研究の題目	主な授業科目
土木環境工学コース	シビルマネジメント工学	教授 金子 栄 廣	バイオマス系廃棄物の利活用、生態毒性に基づく環境リスク評価	災害マネジメント工学 土木エンジニアのための力学 社会基盤維持管理工学 環境保全工学 まちづくり工学
		教授 小林 正 樹	高次元信号処理技術を利用した制御に関する基礎研究	
		教授 齊藤 成 彦	建造物の耐震性および耐久性に関する研究	
		教授 小須田 雅	ロジスティクスのためのデータサイエンスに関する研究	
		教授 武藤 慎 一	安全・安心なまちづくりのための事業評価手法の開発	
		教授 森 一 博	生物環境工学的手法による環境保全と資源生産	
		准教授 後藤 聡	地盤災害（斜面災害、液状化災害等）の防災・減災に関する研究	
		准教授 石井 信 行	景観デザイン、構造デザイン、地域プロデュースに関する研究	
		准教授 秦 康 範	災害被害を軽減し安全・安心を実現する社会システムに関する研究	
		准教授 吉田 純 司	建造物の性能予測および健全度評価に関する研究	
		准教授 宮本 崇	地震工学へのデータサイエンスの応用に関する研究	
		准教授 山浦 浩 太	ホモロジー代数的手法を用いた多元環の研究	
		助教 大槻 順 朗	治水と環境が一体となった河川整備・グリーンインフラに関する研究	
		助教 佐藤 賢之介	セメント・コンクリートの材料科学に関する研究	
助教 宮原 大 樹	非可換ネーター環論			

コース名	指 導 教 員	主な研究題目	主な授業科目
応 用 化 学 コ ー ス	教 授 犬 飼 潤 治	固体表面の構造・電子状態と反応性の解析	有機化学特論 無機化学特論第一 無機化学特論第二 分析化学特論 物理化学特論 高分子化学特論 エネルギー量子化学特論 燃料電池設計科学特論
	教 授 入 江 寛	エネルギー、環境材料の創製と評価	
	教 授 内 田 誠	燃料電池用高性能電極の設計	
	教 授 奥 崎 秀 典	導電性高分子を用いたプラスチックエレクトロニクス	
	教 授 小 幡 誠	機能性高分子の合成と応用	
	教 授 熊 田 伸 弘	新規無機化合物の合成と結晶構造解析	
	教 授 桑 原 哲 夫	機能性有機色素の合成と超分子材料の創製	
	教 授 武 井 貴 弘	機能性無機多孔体の合成	
	教 授 田 中 功	機能性酸化物単結晶の育成技術開発と新機能創成	
	教 授 宮 武 健 治	燃料電池用高分子電解質の研究	
	教 授 柳 博	新機能性酸化物半導体の探索と電子物性評価	
	教 授 米 山 直 樹	有機電荷移動塩の単結晶育成と物性探索	
	教 授 和 田 智 志	ナノ構造制御による環境調和型電子セラミックスの創製	
	教 授 綿 打 敏 司	赤外線集中加熱を用いた単結晶育成技術の開発	
	特任教授 柿 沼 克 良	燃料電池用ナノ材料の合成と物性解析	
	特任教授 宮 尾 敏 広	燃料電池用ナノ構造触媒の研究	
	准教授 井 上 久 美	電気化学バイオセンサ・バイオセンシング法の研究	
	准教授 植 田 郁 生	微量揮発性有機化合物のクロマトグラフィー分析に関する研究	
	准教授 上 野 慎太郎	微構造制御に基づく高機能セラミックス複合材料の開発	
	准教授 葛 目 陽 義	固液ナノ界面における電気化学反応解析	
	准教授 阪 根 英 人	無機化合物の局所構造解析とその特性評価	
	准教授 高 嶋 敏 宏	人工光合成に向けた多電子移動触媒の設計	
	准教授 長 尾 雅 則	超伝導体(および機能性材料)の単結晶育成とその物性評価	
	准教授 野 原 慎 士	燃料電池用電極触媒の研究	
准教授 宮 嶋 尚 哉	多孔質炭素材料表面の制御とその応用に関する研究		
准教授 山 中 淳 二	透過電子顕微鏡による材料組織解析		
准教授 米 崎 功 記	光機能性無機材料の合成と結晶構造解析		
助 教 藤 井 一 郎	強誘電体セラミックスの作製と物性評価		

注意：応用化学コースを担当する教員の一部は、先端材料理工学コースまたはグリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムでも指導します。

コース名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
先端材料理工学コース	教授 熊田伸弘	新しい無機化合物の探査と結晶構造解析	物性物理学特論 量子デバイス特論 フォトニクス特論 エレクトロニクス特論 量子材料科学特論 機能性材料開発特論 固体構造化学特論
	教授 近藤英一	マイクロ・ナノシステム材料プロセッシング	
	教授 武井貴弘	無機-有機複合多孔体の合成・評価	
	教授 田中功	機能性酸化物単結晶の育成と新機能創成	
	教授 張本鉄雄	非線形光学とレーザー工学	
	教授 綿打敏司	赤外線集中加熱を用いた単結晶育成技術の開発	
	准教授 有元圭介	SiGe系半導体デバイスに関する研究	
	准教授 石川陽	光物性理論、量子光学理論	
	准教授 居島薫	スピン偏極走査プローブ顕微鏡	
	准教授 内山和治	走査型プローブ顕微鏡によるナノ光電子物性計測	
	准教授 小川和也	光機能性有機材料の開発	
	准教授 加藤初弘	マイクロデバイスの動作解析と高機能化	
	准教授 酒井優	ナノ材料の光観察と量子効果	
	准教授 佐藤哲也	凝縮ガス層のプラズマ励起による機能性薄膜の低温合成と応用	
	准教授 東海林篤	半導体の光物性実験	
	准教授 長尾雅則	超伝導体(および機能性材料)の単結晶育成とその物性評価	
	准教授 山中淳二	電子顕微鏡による無機材料の構造解析	
	准教授 米崎功記	新しい無機化合物の探査	
助教 則竹史哉	酸化物の分子シミュレーション		
助教 原康祐	シリサイド系半導体薄膜の作製と太陽電池応用		

注意：先端材料理工学コースを担当する教員の一部は、応用化学コースまたはグリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムでも指導します。

プログラム名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
流域環境科学特別教育プログラム	教授 西田 継 教授 石平 博 教授 原本 英司 教授 遠山 忠 准教授 相馬 一義 准教授 馬籠 純 助教 中村 高志	環境モデルによる福祉と持続可能システム 水文モデルの開発、寒冷圏の水文学に関する研究 水環境中における健康関連微生物の動態解析 環境負荷の低減、廃水・廃棄物からの資源・エネルギー回収 人間活動を考慮した気象・水循環モデル開発と水災害予測への活用 水文・水資源モデリングおよび衛星・地理情報による環境評価 環境同位体を用いた水文解析および水質評価	国際協力論 環境統計解析 地理情報システム 暮らしと健康 流域計画論 水文水資源学特論 陸水水質評価特論 環境浄化技術特論

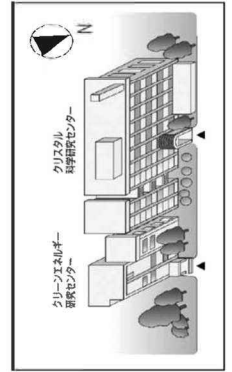
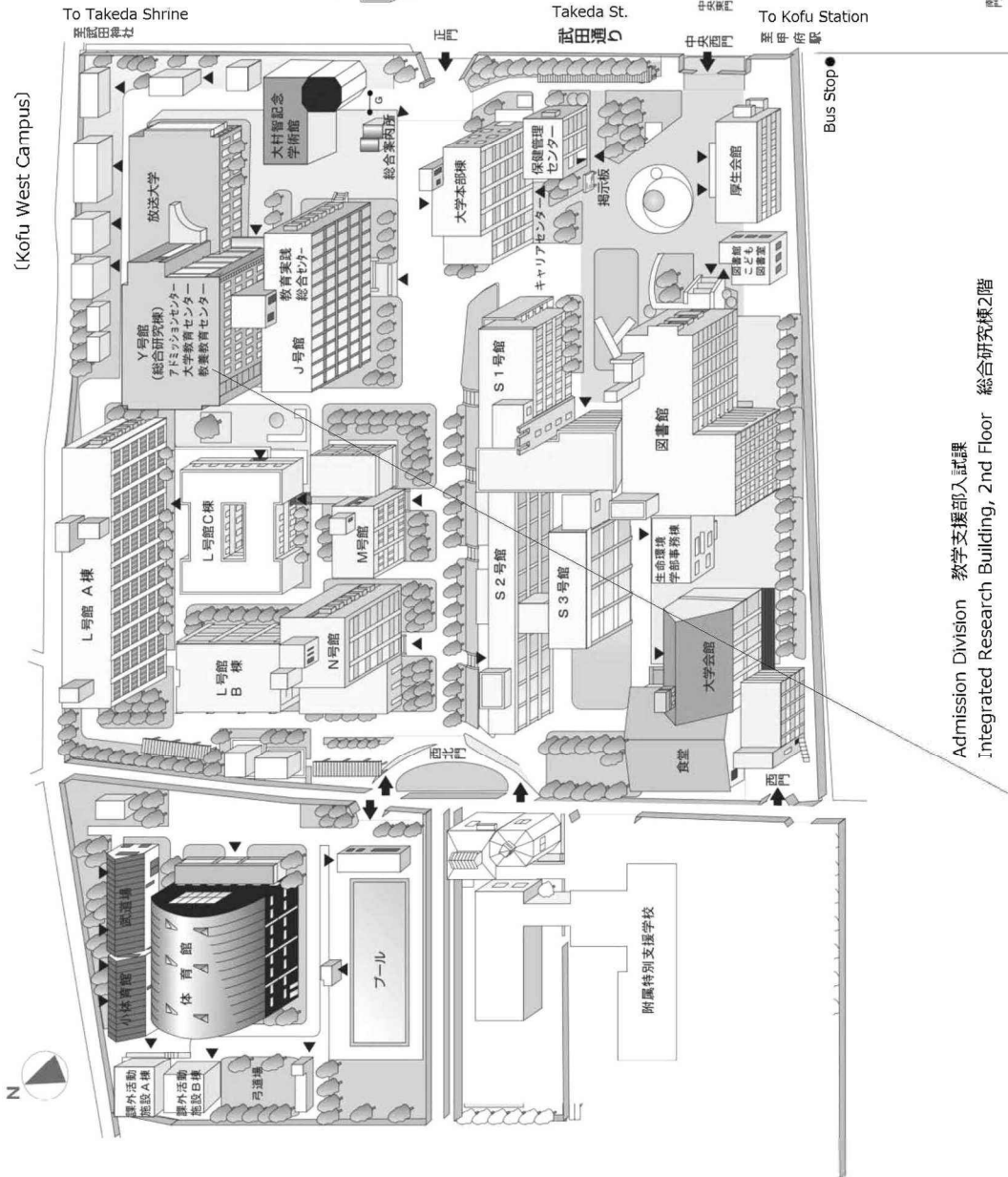
注意：流域環境科学特別教育プログラムを担当する教員は、各々の専門に応じて他のコース・専攻でも指導します。また、他のコース・専攻を担当する教員も、各々の専門に応じて流域環境科学特別教育プログラムでも指導します。

プログラム名	指導教員	主な研究題目	主な授業科目
グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム	教授 内田 誠	燃料電池用高性能膜／電極接合体の設計	燃料電池設計特論 物理化学特論 太陽エネルギー変換工学特論 高分子材料化学特論 表面・界面科学特論
	教授 宮武 健治	燃料電池用高分子電解質の合成と物性評価	
	准教授 野原 慎士	固体高分子形燃料電池用電極触媒の研究	
	特任教授 飯山 明裕	先端的自動車用固体高分子形燃料電池	
	特任教授 柿沼 克良	燃料電池用ナノ材料の合成と機能解析	
	准教授 葛目 陽義	固液ナノ界面における電気化学反応解析	
	准教授 三宅 純平	燃料電池用高分子電解質の設計	
	教授 入江 寛	太陽エネルギー変換材料、環境材料の創製と評価	
	教授 柳 博	太陽エネルギー変換用酸化物半導体の合成と物性評価	
	准教授 高嶋 敏宏	人工光合成に向けた多電子移動触媒の設計	
	教授 和田 智志	環境調和型圧電セラミックスの創製と機能評価	
	教授 田中 功	機能材料単結晶の育成と新機能創成	
	教授 熊田 伸弘	新規無機化合物の合成と特性評価	
	教授 奥崎 秀典	導電性高分子を用いたプラスチックエレクトロニクス	
	教授 犬飼 潤治	エネルギー変換材料の表面構造と電子状態の解析	
教授 近藤 英一	マイクロ・ナノ材料のプロセッシングと評価		
教授 武井 貴弘	機能性無機有機複合体の作製と評価		
特任教授 宮尾 敏広	水素製造用ナノ構造触媒の研究		

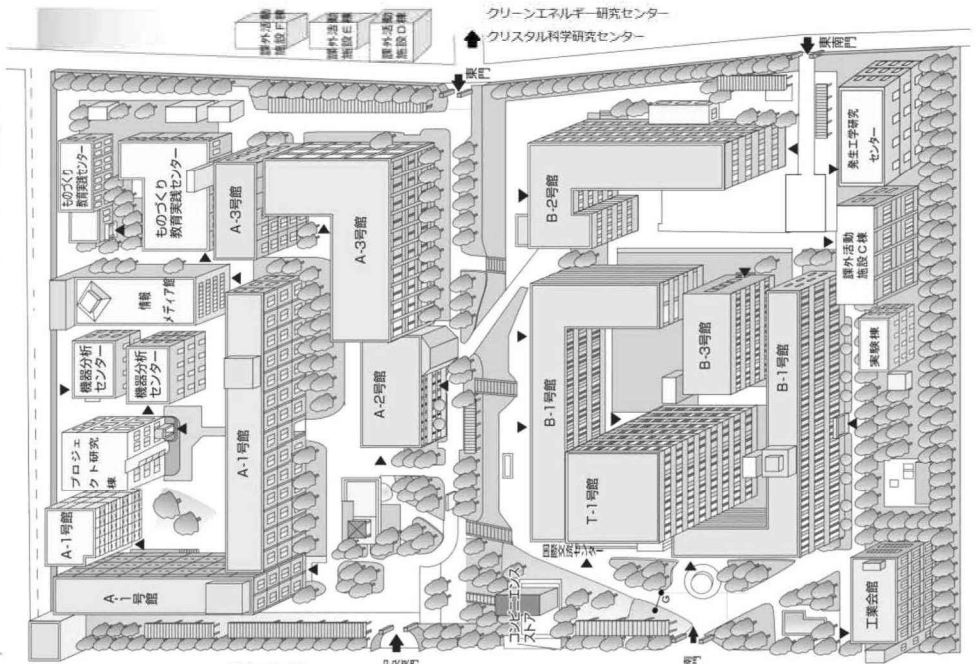
注意：グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラムを担当する教員は、各々の専門に応じて他のコースでも指導します。

山梨大学 (甲府キャンパス) 建物配置図
 University of Yamanashi, Kofu Campus

(甲府西キャンパス)
 (Kofu West Campus)



(甲府東キャンパス)
 (Kofu East Campus)



山梨大学甲府キャンパス周辺図

University of Yamanashi, Kofu Campus Location Map

甲府駅下車、北口から徒歩約15分

甲府駅下車、北口からバス(武田神社、積翠寺行き)で約5分 山梨大学下車

Take the JR train to Kofu Station and follow the signs to the North Exit.

The campus is about a 15 minutes walk from Kofu Station.

Take the JR train to Kofu Station. From the bus terminal at the North Exit, take a bus at platform 2 bound either for "Takeda Shrine," or "Sekisuiji Temple". After about 5 minutes, get off at the University of Yamanashi Bus Stop.



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

As there is no parking area available on the campus property, please use public transportation.

Web出願利用ガイド

出願期間内に「Web出願情報の登録」と「入学検定料の支払い」と「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願書類の受理はできません。

STEP 1

Web出願の事前準備

①インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレットなど

OSやブラウザは最新の状態にアップデートしておいてください。また、PDFを表示するために、アドビ社のAdobe Readerの最新版をダウンロード(無償)し、最新の状態にアップデートしておいてください。

②利用可能なメールアドレス

パソコンやスマートフォン等で利用可能なメールアドレスを用意してください。設定で「@yamanashi.ac.jp」からの受信を許可し、迷惑メールに振り分けられないようにしてください。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

④事前に準備できる出願書類

「成績証明書」および「英語外部試験の成績」などは発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身大学等や各発行機関に申請手続きをしてください。
「志望理由書」などの様式は、出願期間前から本学ホームページよりダウンロードが可能です。

⑤市販の角形2号封筒・郵便切手*

封筒は出願書類の送付に必要です。切手は各募集要項に記載の金額を過不足なく用意してください。海外在住の方は不要です。
※切手の代金は入試区分によって異なりますので、各募集要項を確認してください。

⑥写真

3ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、縦4：横3(縦800ピクセル×横600ピクセル以上)、JPEG形式の写真を用意してください。



STEP 2

メールアドレスの登録

インターネットで「山梨大学 Web出願」で検索または下のQRコードからWeb出願サイトにアクセスし、画面右上の「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにシステムからメールが届きますので、本文に記載されているURLより30分以内に次の手順に進んでください。

STEP 3

利用者情報の登録 ※いつでも登録が可能です。

画面の案内に従って個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 ※出願期間中のみ登録が可能です。

画面の案内に従って入試情報(入試区分、志望コース等、写真など)を登録してください。



山梨大学入試
Web出願サイト

<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「検定料の支払い」から、①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキングのいずれかの支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。クレジットカード以外の支払い方法は、入金を確認されるまで2時間程度かかる場合があります。なお、海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」をクリックし、「出願書類印刷」から必要な書類を印刷・作成してください。各自で用意した角形2号封筒に「封筒貼付票」を貼付し、「出願書類等チェックリスト」(提出不要)で出願書類が全て揃っているか確認後、山梨大学入試課に提出してください。
※出願書類の提出方法は、各募集要項を確認してください。

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の到着をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ

山梨大学 教学支援部入試課

☎055-220-8046 ✉web-nyushi-tr@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

本学所定の様式

(様式1～5)

志 望 理 由 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

*この様式に基づいて、パソコンで作成してください。

(注) ※印欄は大学側で記入します。

研 究 計 画 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

次の各コースが求める記載内容を、図等を含み各コースが指定する枚数で、この様式に基づいてパソコンで作成してください。

提出する際は、両面印刷し、複数枚になる場合は左上をホッチキス止めしてください。

【機械工学コース】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚程度

【電気電子工学コース】

「入学後の研究計画」について4枚以内。関連する研究動向、解決すべき課題、研究の目的・位置づけ、具体的な研究計画・方法、準備・進行状況について記載すること。

【コンピュータ理工学コース】

「これまで大学等で興味をもった専門的事項・技術」及び「入学後に研究してみたい分野の内容」について4枚程度

【メカトロニクス工学コース】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚程度

【応用化学コース】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について2枚程度

【先端材料理工学コース】

「入学したら何を研究して何が分かりたいか、あるいは何を実現したいか」と「卒業研究を含めてその現在までの準備進行状況」について2枚程度

研 究 計 画 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

次の各コースが求める記載内容を、図等を含み各コース等が指定する枚数で、この様式に基づいてパソコンで作成してください。

提出する際は、両面印刷し、複数枚になる場合は左上をホッチキス止めしてください。

【電気電子工学コース】

「入学後の研究計画」について4枚以内。関連する研究動向、解決すべき課題、研究の目的・位置づけ、具体的な研究計画・方法、準備・進行状況について記載すること。

【コンピュータ理工学コース】

「これまで大学等で興味をもった専門的事項・技術」及び「入学後に研究してみたい分野の内容」について4枚程度

【メカトロニクス工学コース、土木環境工学コース、流域環境科学特別教育プログラム】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚程度

【応用化学コース】

「卒業研究の準備・進行状況」及び「入学したら何を研究したいか」について2枚程度

【先端材料理工学コース】

「入学したら何を研究して何が分かりたいか、あるいは何を実現したいか」と「卒業研究を含めてその現在までの準備進行状況」について4枚程度

【グリーンエネルギー変換工学特別教育プログラム】

「入学したら何を研究したいか」及び「卒業研究内容」について4枚程度

研 究 計 画 書

受験番号	※	氏 名		備 考	
------	---	-----	--	-----	--

次の各コースが求める記載内容を、図等を含み各コース等が指定する枚数で、この様式に基づいてパソコンで作成してください。

提出する際は、両面印刷し、複数枚になる場合は左上をホッチキス止めしてください。

【機械工学コース、土木環境工学コース、応用化学コース、流域環境科学特別教育プログラム】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚程度

【メカトロニクス工学コース】

「入学したら何を研究したいか」及び「研究の準備・進行状況」について4枚以内

【電気電子工学コース】

「入学後の研究計画」について4枚以内。関連する研究動向、解決すべき課題、研究の目的・位置づけ、具体的な研究計画・方法、準備・進行状況について記載すること。

【コンピュータ理工学コース】

「これまで大学等で興味をもった専門的事項・技術」及び「入学後に研究してみたい分野の内容」について4枚程度

【先端材料理工学コース】

「これまでの実社会での経験を踏まえて、入学したら何を研究したいかと、その準備、進行状況」について4枚程度

研究業績調書

記入例

NO.1

			受験番号	※	氏名	山梨太郎
学術論文、研究報告、学会等発表、卒業論文、著書、特許等の名称 (全著書の氏名 (記載順))	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (150字以内で記載してください。)			
I 学術論文						
1 ○○○○○○○ (山梨太郎、山梨一郎)	2013.1	○○学会誌 Vol. No. PP. ~				
2 ○○○○○○○ (武田三郎、山梨太郎)	2014.7	〃				
:						
5 ○○○○○○○ (学位論文 (修士論文))	2015.3	○○大学				
II 研究報告、各種計画、特許など						
1 ○○○○○○○ (山梨太郎、武田三郎)	2017.5	○○会社技術報告 Vol. No. PP. ~ ○○年報 PP. ~				
:						
III 口頭発表						
1 ○○○○○○○ (甲府次郎、山梨太郎)	2013.12	○○学会○○大会				
:						
IV 解説、総説						
1 ○○○○○○○ (武田三郎、山梨太郎)	2016.10	○○学会誌 Vol. No. PP. ~				
:						
V 著書 (共著、分担、訳書の別様を記すこと。)						
1 ○○工学ハンドブック (分担)	2017.2	○○出版 PP. ~				
:						
VI 受賞						
1 [受賞題目] (山梨太郎、甲府三郎)		○○学会○○賞				
2 [受賞題目] (山梨太郎、武田三郎)		○○社社長賞				
VII その他 (取得資格等)						
○○士 (建築部門)	2017.12	日本技術士会				

注1 : 記載した内容を証明する別刷等(コピー可)を必ず添付してください。

注2 : ※印欄は大学側で記入します。

研 究 業 績 調 書

NO.

			受験番号	※	氏名	
学術論文、研究報告、学会等発表、卒業論文、著書、特許等の名称 (全著書の氏名 (記載順))	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (150字以内で記載してください。)			

注1：記載した内容を証明する別刷等(コピー可)を必ず添付してください。

注2：※印欄は大学側で記入します。

令和4年度
山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程
工学専攻

入学試験出願資格認定審査調書

※ 受験番号

山梨大学長 殿		年 月 日	
(フリガナ) 氏 名 (旧姓)		男 ・ 女	
英 文 表 記		外国人(留学生)志願者は氏名をアルファベットで記入してください。	
生 年 月 日		年 月 日生 (歳)	
国 籍		外国人(留学生)志願者は国籍を記入してください。	
志望する募集区分	前期募集	後期募集	
志望する選抜区分	推薦特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜
志望するコース等名	コース・プログラム		
希望指導教員名			
志願者連絡先	住所	〒	
	E-mail	@	
	電話	— —	— —
勤務先又は職業	社会人特別選抜を志望する方のみ記入してください。		
出願資格	大学等区分 (○で囲んでください。)	国立 ・ 私立 ・ その他 ()	
	大学等名		
	学部・学科・専攻等名		
	卒業(見込)年月 修了(見込)年月	年 月 卒業(見込) ・ 修了(見込)	
入学希望時期 (希望する入学時期を○で 囲んでください。)	前期募集	令和3年10月入学	令和4年4月入学
	後期募集	令和4年4月入学	令和4年10月入学

注1. ※印欄は、大学側で記入します。

2. 志望する募集区分欄及び選抜区分欄は、いずれかを○で囲んでください。

3. 入学希望時期欄は、希望する入学時期を○で囲んでください。

履 歴

区 分	事 項	
学 歴 外国人(留学生)志願者は、小学校入学年月から記入してください。また、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入してください。 日本人志願者は、高等学校入学から記入してください。	初等教育 (小学校) Elementary School	学校名 (所在地)
		年 月 入学
		年 月 卒業 ・ 卒業見込 / 修了 ・ 修了見込
	前期中等教育 (中学校) Middle School / Junior High School	学校名 (所在地)
		年 月 入学
		年 月 卒業 ・ 卒業見込 / 修了 ・ 修了見込
	後期中等教育 (高等学校) (Senior) High School	学校名 (所在地)
		年 月 入学
		年 月 卒業 ・ 卒業見込 / 修了 ・ 修了見込
	高等教育 (大学) University / College	学校名 (所在地)
		年 月 入学
		年 月 卒業 ・ 卒業見込 / 修了 ・ 修了見込
		学校名 (所在地)
		年 月 入学
		年 月 卒業 ・ 卒業見込 / 修了 ・ 修了見込
	学校名 (所在地)	
	年 月 入学	
	年 月 卒業 ・ 卒業見込 / 修了 ・ 修了見込	
職 歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
資 格	年 月	
	年 月	
賞 罰		

注1. 学歴欄には、卒業見込み又は修了見込みについても必ず記入してください。
 2. 履歴中に虚偽の事項を記載、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが、入学後に判明した場合は、入学を取り消すことがあります。